

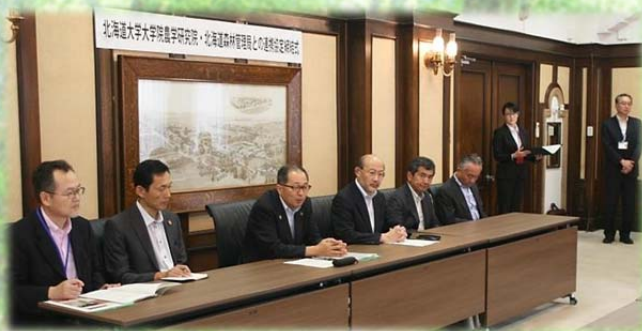


これからの森づくり・人づくり

北海道大学大学院農学研究院と北海道森林管理局は7月15日、北海道大学農学部において、「国立大学法人北海道大学大学院農学研究院・大学院農学院・農学部と林野庁北海道森林管理局との森林・林業・木材分野の連携と協力に関する協定書」を締結しました。

今回の協定は、今年5月に見直された「森林・林業基本計画」を踏まえ、森林・林業・木材分野に関し連携・協力することにより、北海道における適切かつ効率的な森林整備、森林資源の利活用の推進、自然環境の保全並びにこれらに取り組み人材の育成を推進し、林業・木材産業及び北海道の持続的な発展を加速することを目的としています。

協定締結式では、横田北海道大学大学院農学研究院院長、黒川北海道森林管理局長による署名が執り行われ協定が締結されました。



協定締結式

黒川局長から連携協定締結による今後の展望にむけて「双方が有する様々な知見・技術を有機的に連携して、森林資源の循環利用と健全で多様な森づくりを加速するための技術開発や、それを担う人材の育成を通じて課題を解決し、林業・木材産業の成長産業化と地域の持続的発展を目指します」とコメントがありました。



協定締結記念講演会

締結式終了後、北海道大学農学部大講堂において、北海道の森林・林業・木材産業が直面する課題の解決に向けた取り組みのキックオフとして、学生、林業・木材産業関係者等を対象とした協定締結記念講演会「これからの森づくり・人づくり」が開催され、約130名の参加がありました。



渋谷 准教授

記念講演では、「これからの森づくりの方向性」新たな森林・林業基本計画」と題して、北海道森林管理局中村 毅 計画保全部長より、つづいて、「これから必要な人材育成とは？」と題して、北海道大学大学院農学研究院 渋谷 正人 准教授より講演がありました。



中村 計画保全部長